

岐阜県立多治見病院

病院の概要

開設時期：昭和14年9月8日
開設者：地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
院長名：近藤 泰三
病床数：553床
標榜科：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、小児科、新生児内科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科

医師数：174名（医科167名、歯科7名）
指導医師数：55名（臨床研修指導医講習会修了者）
外来患者数：1,057名／日
入院患者数：379.8名／日
所在地：多治見市前畑町5-161
URL：https://www.tajimi-hospital.jp/



病院の特徴

岐阜県立多治見病院は岐阜県東濃地域唯一の三次救急病院であり、内科・外科・マイナー科以外にも、精神科・緩和ケア内科・心臓血管外科など全科の揃った553床の総合病院です。2024年4月に新棟が開設し、東濃・可児地域における基幹病院として、高度急性期・急性期の医療機能を拡充します。

院長メッセージ



近藤泰三
(循環器内科)

当院の特長は、岐阜県東濃可児地域の扇の要に位置し、地域の中での基幹病院であることはもちろんですが、中津川市民病院を初め、各中核病院と真の病病連携、また、かかりつけ医院との病診連携が緊密におこなわれている病院ということ。つまり、住民の皆さんの「最後の砦」として、二次三次救急を初めとする様々な役割を担っています。その為に地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院であり、結核病棟、感染症棟、緩和病棟、精神科病棟も備え、幅広い診療を行っています。愛知県の病院、岐阜市内の病院とは一味違う持ち味を持っていると思います。医師及びメディカルスタッフは、東濃可児地域という広い地域の住民の期待に応えるように活躍しています。

研修医の先生は、多くの患者さんが集まる当院で症例を経験でき、また、上級医師の指導により、様々な手技を学ぶことができます。名古屋大学、名古屋市立大学との連携により、多くの医師が医局、様々な中核病院と活発な交流をしており、優秀な先輩が当院へ赴任され、また巣立っています。是非当院で研修をスタートしてみませんか。

指導医メッセージ

当院では指導医・上級医のみならずコメディカルも含めた病院全体で臨床研修をサポートしています。同時に、指導医と研修医の風通しを良くして、いろいろな意見を聞きつつ研修環境や制度を「カイゼン」しています。研修環境だけでなく、臨床教育プログラムも充実しており、研修早期にAHAのBLS、ACLS、JPTECを受講していただきます。また、グループワーク型の総合診療講座や、各科の部長講義などのバラエティーに富む教育プログラムも毎月1回程度開催しています。

医療現場においても多様性や個性が見直されている時代ですが、いろいろな出身大学の仲間（研修医）がいることも当院の特徴の一つです。仲間と一緒に、将来のキャリアにむけて岐阜県立多治見病院で医師としてのスタートを切ってみませんか？

研修医メッセージ

県立多治見病院での研修について、研修医からの視点でメッセージを一言でまとめると、「やる気に応じてくれる病院」となるでしょうか。救急では1次から3次まで本当に様々な疾患を経験できます。完全電子カルテ化されているので、救急外来を受診した患者さんの経過がわかるのもbrush upにつながっています。また充実したローテートで、基本的な手技は確実に身につきます。各科の壁が低いので、指導医に申し出て循環器科研修中に胃カメラをしたり、内分泌科研修中に腹部エコーをしたりと、自分の担当患者さんを総合的に診られたことも、この病院を選んでよかったと実感したことの一つです。まずは実際に病院に見学に来て、雰囲気に触れてください！研修医からもっと詳しい話が聞けますし、研修を修了した憧れの先輩方もたくさんいるので、自分の数年後の姿が見えてくるはずです。「やる気」をもった後輩がたくさんできるとうれしく思います。

研修スケジュール

【1年次】・内科系20週以上、救急部門12週以上、外科系12週以上、小児科4週以上 ※産婦人科は希望により1年目に選択することも可能。その場合は内科系を1年目16週以上、2年目8週以上選択する。

【2年次】・内科系・産婦人科・精神科・地域医療を最低4週

・内科系は、消化器・循環器・呼吸器・腎臓・血液・糖尿病・内分泌・脳神経内科から選択できる。緩和ケア内科は、2年次の選択とする。

・外科系は、一般外科及び整形外科を最低4週選択し、他は形成外科・心臓外科・血管外科・脳神経外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺内分泌外科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科・放射線診断科から選択できる。

・1年次に、整形外科を必ず選択する。また、脳神経外科・脳神経内科の内いずれかを必ず選択する。

・当直研修は、救命救急センターにて月平均6回

・一般外来研修は小児科・地域医療にて研修を行う。

・地域医療は、国保上矢作病院（4週）または与論徳洲会病院（8週）を2年次に選択する。

・岐阜県赤十字センターが実施する献血に同行し、献血を経験する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パターン①	1年次	内科系				小児	外科系			救急		
	2年次	内科系	産婦	精神	地域	病理	選択科目					

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パターン②	1年次	救急			内科系			外科系			小児	内科系
	2年次	内科系	救急		産婦	地域（与論）	精神	選択科目＋病理（1週間）				

研修協力病院・施設

名古屋大学医学部附属病院

与論徳洲会病院

国民健康保険上矢作病院

岐阜県赤十字血液センター

後期研修・専門研修

当院では内科領域・外科領域及び精神科において、当院を基幹病院とする専門研修プログラムがあり、正規勤医の待遇で採用します。その他の診療科についても、名古屋大学医学部附属病院、岐阜大学医学部附属病院等の連携施設ですので、初期研修終了後に、そのまま当院で専門研修に移行することができます。

また、学会・論文発表などを含め、各科専門医取得に向けての準備は当該科部長が責任を持って指導します。

研修プログラムの目標

岐阜県立多治見病院研修理念に則り、患者の気持ちを常に思いやる習慣を身につけるとともに、医師として必要なプライマリケアの基本的な診療能力や救急医療や外科系・内科系に渡る幅広い知識や技能を習得します。

研修プログラムの特徴

研修プログラムは自由度が高く、都度変更が可能です。研修医のための研修会・勉強会も豊富に開催しており、指導医・上級医によるしっかりした指導体制が整っています。AHAのBLS・ACLS、JPTECの講習は、受講料を病院が全額負担して受講することができます。地域医療では鹿児島県与論島の離島研修、または岐阜県恵那市の山間部の病院研修を選択できます。

募集要項

応募資格：令和8年3月に医師免許を取得する見込みである者

募集人員：12名（予定）

身分：常勤臨床研修医師

給与：月額588,000円、賞与2回
1年次年収：約790万円、2年次年収：約890万円

住居等：研修医宿舎、職員食堂

保険等：健康保険、厚生年金、雇用保険、国家・地方公務員災害補償
当院加入の医師賠償責任保険の適用あり

休暇等：年次休暇（27日（ワークライフバランス休暇（7日）含）、特別休暇等

連絡先

電話番号：0572-22-5311 内線（2210）

f a x：0572-25-1246

E - m a i l：info@tajimi-hospital.jp

交通案内



JR中央線多治見駅からバスで約10分